

正誤表

p.32 「図 4-2」 下

(誤)

ステップ2 (小項目の抽出作業) では、ステップ1で抽出した「意味のある情報の最小限のまとめり」について、同義、および共通した内容ごとに整理し、「小項目」を抽出した。・ステップ3 (領域「大項目」の設定) では、次に、ステップ2の「小項目」を分類するために、9領域を「大項目」として設定した。領域は、横軸に①子ども虐待やその予防における対応レベル (コラム②参照) に基づき、「グリーンゾーン」、「グレーゾーン」、「レッドゾーン」の3層に整理した。同時に、縦軸は②「子ども」、「家庭・養育者」、「環境・地域社会」の各領域で整理した。その後、ステップ2で抽出された「小項目」を、発言の対象に応じ、上記の縦軸3層、横軸3領域の9領域に分類した。

(正)

ステップ2 (小項目の抽出作業) では、ステップ1で抽出した「意味のある情報の最小限のまとめり」について、同義、および共通した内容ごとに整理し、「小項目」を抽出した。

巻末「付記」

(誤)

高橋幸成 (日本家庭子ども総合研究所)

(正)

高橋幸成 (日本子ども家庭総合研究所)